

研究課題番号	S-14-2
研究課題名	生態系保全による緩和策と適応策の統合
研究実施期間	平成 27 年度～令和元年度
累計予算額	330,659 千円
研究機関名	横浜国立大学
研究代表者名	松田 裕之

1. 評価者の指摘及び提言概要

複雑・多様なために、ともすれば個別研究で終わることの多い生態系を対象とした研究において、網羅的かつ、浅海生態系を全て考慮した新たな生態系モデルの開発、窒素フットプリントの観点からの評価、生態系改変速度指標の開発などの独自の成果が得られた。また、鳥類の絶滅リスクの評価、草本植物の種の多様性の確保、全球での松枯れへの深刻な影響等の研究成果は影響評価のカテゴリで顕著な成果が得られている。しかし、これらの成果が、「生態系保全による緩和策と適応策の統合」という大きなテーマに対して、各サブテーマがどのような貢献をしたのかが明確に示されたとは言い難い。

2. 評点

総合評点：A